エディタの使い方

中村 匡秀 計算科学演習 第1回講義資料

※本資料のオリジナルは関和弘先生によって作成されました.

今日やること

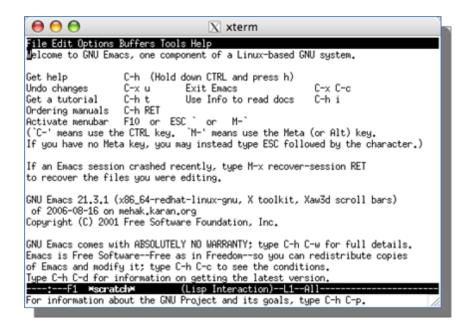
- Emacsの起動方法
- 基本キー操作
- ファイル操作
- バッファ
- Emacsの終了方法

キー操作の標記法

- C-
 - CTRLを押しながら...
- M-
 - ALT を押しながら...
 - うまく行かない時は、ESCを押してから口を押す

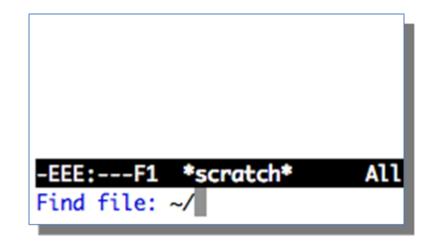
Emacsの起動方法

- ターミナルで
 - \$ ssh scalar
 - \$ emacs



ファイルの作り方(開き方)

- control キーを押しながら、x, f を続けて押す
 C-x C-f
- エコー領域(画面一番下)に「Find file: ~/」とい うメッセージが出る
- ファイル名(test.c)を入力で return



タブを押すとファイル名な どの補完が出来る

キ一操作取り消し

わけが分からなくなったら

— **C**-g

で直前のキー操作をキャンセル(編集のundoとは違う)

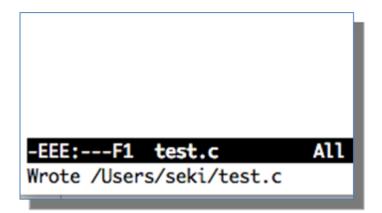
エコー領域によく分からない表示が 出ている時は、消えるまで CTRL+g を 押し続ければ良い

ファイルの編集

```
Terminal - emacs - 74×21
File Edit Options Buffers Tools C Help
int main()
 printf("Mary had a little lamb");
 return 1;
                          All L7
                                    (C/l Abbrev)----3:39PM 0.39-----
-EE-:**-F1 test.c
```

ファイルの保存

• C-x C-s



シェル/Emacsに戻る

 C-z で emacs を中断し、コンパイル、実行 \$ gcc test.c
 test.c: In function = = = main = = =:
 ...
 \$ fg ← 中断しているプログラム (emacs)を再開

毎回 Emacs を終了する必要はない!

ファイルの編集

```
Terminal - emacs - 74×21
File Edit Options Buffers Tools C Help
#include<stdio.h>
int main()
 printf("Mary had a little lamb");
  return 1;
                           A11 L8
                                      (C/l Abbrev)----3:41PM 0.47-----
-EE-:---F1 test.c
```

コピー&ペースト

- 手順
 - 1. C-@(C-space). コピー(カット)領域開始位置を 指定
 - 2. コピー(カット)領域終了位置までカーソルを移動
 - 3. M-w(ESC を押してからw). 上の1で指定した開始位置から現在のカーソル位置までをコピー
 - 4. 貼付けたいところまでカーソルを移動
 - 5. C-y. コピー(カット)した領域をペースト

編集の取り消し(undo)

- C-_(つまりSHIFT+CTRL+¥)
 - 直前の編集を元に戻す
 - 続けて押せば、さらに前の編集を取り消せる

練習

• コピー&ペーストで

Mary had a little lamb, Little lamb, little lamb. Mary had a little lamb.

と表示されるようにせよ.(入力しても簡単だが、コピー&ペーストすること)

カット&ペースト

- 手順
 - 1. C-@(C-space). コピー(カット)領域開始位置を 指定
 - 2. コピー(カット)領域終了位置までカーソルを移動
 - 3. C-w. 上の1で指定した位置から現在のカーソル 位置までをカット
 - 4. 貼付けたいところまでカーソルを移動
 - 5. C-y. コピー(カット)した領域をペースト

便利なカット

- C-k. 現在のカーソル位置から行末までをカット
 - 一行まるまるカット&ペーストする時に便利
- そのままカットを繰り返すと、連続した複数行 をまとめてクリップボードに入れられる
 - 複数行まるまるカット&ペーストする時に便利

行末の改行までカットするためには、 カットを2回連続して行う

練習

• C-w によるカット, C-k によるカットをそれぞれ 試してみなさい. (もちろん, その後ペーストし てみる)

便利なカーソル移動

- C-v. 1画面下に移動(進む)
- M-v(ESCを押してからv). 1画面上に移動(戻る)
- C-e. 行末へ移動
- C-a. 行頭へ移動

検索によるカーソル移動

- C-s. 入力文字を検索, 移動(カーソル位置から下へ)
 - 探している文字列を見つけたら、「enter」やカーソルキーで編集モードに戻れる
 - 文字列を見つけたあとに CTRL+s をもう一度押すと、その次の出現箇所を検索
- C-r. 同じく検索, 移動(カーソル位置から上へ)

練習

次のファイルを開き、色々なカーソル移動方法を試してみよ

/tmp/week1/songs.txt

```
---:%%-F1 *Completions* (Completion Find file: /tmp/week1/songs.txt
```

バッファ

- Emacsでのファイルの作成・編集は、バッファ と呼ばれる作業領域で行われる
- 通常, 画面に表示されているバッファは一つ だが, 内部的には複数のバッファを保持できる



バッファを切り替えることで、異なるバッファ (ファイル)間でもコピー&ペーストが可能

バッファの切り替え

 C-x b(C-x を押してから b). エコー領域で切り 替えたいファイル名を指定

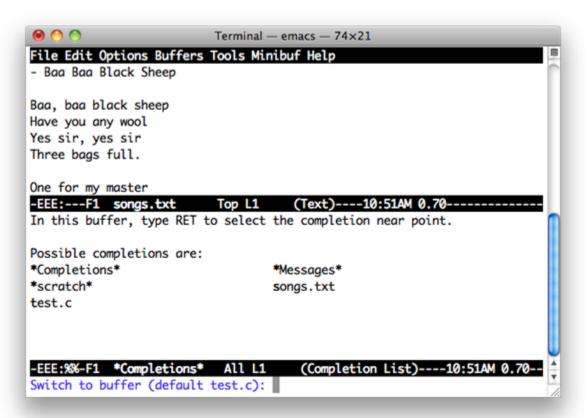
```
- Hey Diddle Diddle

Hey diddle diddle,
The cat and the fiddle,
The cow jumped over the moon,
The little dog laughed to see such sport,
-EEE:---F1 songs.txt Top L1 (Text)----10:48/
Switch to buffer (default test.c):
```

※ そのままEnterを押すと、デフォルトのバッファに切り替わる

バッファの切り替え

続けてタブを押すと、画面が二分割されて、 切り替え可能なバッファ名が表示される



複数バッファの表示

- C-x 2. 画面が2分割される.
- C-x o. バッファ間でカーソルを移動。
- C-x 0. 今カーソルがあるバッファだけを残して、 画面分割解除

練習

• バッファを切り替えて, songs.txt から適当な 歌詞を test.c の printf 部分に貼付けなさい.

 複数バッファの表示を試してみなさい. 試した あとは, 画面分割を解除して, 元の一バッファ 表示に戻すこと.

Emacs の終了の仕方

• C-x C-c

課題(練習)

- 自宅,あるいは研究室のパソコンから scalar にログインしなさい。
 - OSは問わない
- 自宅、あるいは研究室のパソコンからscalar にファイルをコピーしなさい。
 - 何のファイルでも良い
- scalar 上で、下記を実行しなさい(締切:次回 授業日の前日23:59まで)

\$ echo | mail -s 自分のアカウント名 masa-n